


Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 インストールガイド

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: はじめに.....	4
章 2: システム要件.....	6
管理システムのシステム要件.....	6
管理対象システムのシステム要件.....	6
章 3: ダウンロードとインストール.....	8
インストール後の作業.....	8
章 4: インストール後の要件.....	10
アラートまたはイベントトラップの設定.....	10
サポート技術情報記事の設定.....	10
デフォルト以外のパスにインストールした Nagios XI の設定.....	11
章 5: Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 へのアップグレード.....	12
章 6: Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 のアンインストール.....	13
章 7: Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス.....	14
章 8: 関連マニュアル.....	15
章 9: OMSDK のインストール.....	16

はじめに

Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in ガイドでは、Nagios XI 向けプラグインのソフトウェアおよびシステム要件、インストール手順、アップグレードとアンインストールについて説明しています。

本製品を使用すると、サポート対象の Dell EMC デバイスを監視する機能を利用することもでき、システム全体およびコンポーネントレベルでの正常性監視など、Dell EMC デバイスをハードウェアレベルで包括的に確認できるようになります。ユーザーは基本的なインベントリー情報を表示し、Dell EMC デバイスのイベントの監視を行うことができます。Dell EMC デバイスの 1対1での Web コンソール起動がサポートされているため、詳細なトラブルシューティング、デバイスの設定、アクティビティの管理が可能です。

Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 は、次の Dell EMC デバイスをサポートします。

- ・ iDRAC9 ベースの PowerEdge サーバー。
- ・ Lifecycle Controller (LC) 搭載 Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) を通じたエージェント フリー方式での第 12 世代および 13 世代 PowerEdge サーバー
- ・ OEM サーバ
- ・ データセンタースケラブルソリューション (DSS)
- ・ ハイパーコンバージド インフラストラクチャ (HCI) プラットフォーム - Dell EMC VxRail、Dell EMC VxFlex、Dell EMC XC デバイス
- ・ PowerEdge FX2/FX2s シャーシ、PowerEdge VRTX シャーシ、PowerEdge M1000e および MX7000 シャーシ
- ・ EqualLogic PS-Series ストレージ アレイ、PowerVault MD 34/38、ME4 ストレージ アレイ、Dell Compellent SC-Series ストレージ アレイ
- ・ Dell EMC ネットワークスイッチ

サポート対象の Dell EMC デバイス モデルの詳細については、『Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 ユーザーズガイド』の「サポート マトリックス」を参照してください。

表 1. 主な機能

特長	機能
デバイス検出	Dell EMC デバイスを検出します。 検出が完了すると、デバイスごとにホストとサービスの定義が作成されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Lifecycle Controller 搭載 iDRAC を使用した Dell EMC サーバーの検出では、SNMP プロトコル、WSMan プロトコル、Redfish プロトコルのいずれかを使用できます。 ・ Dell EMC ストレージおよび Dell EMC ネットワークスイッチの検出は、SNMP プロトコルを使用してサポートされています。 ・ Dell EMC シャーシの検出には、WSMan プロトコルを使用します。 ・ Dell EMC MX7000 モジュラー シャーシおよび ME4 ストレージ アレイは、REST で検出できます。
セキュリティの強化	ホスト定義ファイルの AES 256 ビット ベースのパスワード暗号化を使用したセキュリティの強化
デバイス情報	デバイスの検出完了後、サービス タグ、ファームウェア バージョン、デバイス名、デバイス モデルなど、検出されたデバイスに関する情報を表示します。 この情報は、Nagios XI コンソールの ホスト または サービス ビューで表示できます。 デバイス サービスとその説明については、『Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 ユーザーズガイド』の「デバイス情報」を参照してください。
Dell EMC デバイスの全体的な正常性の監視	Dell EMC デバイスの全体的な正常性を監視します。
Dell EMC デバイスのコンポーネントレベルの正常性	Dell EMC デバイスのコンポーネント (物理ディスク、電源装置、温度プローブ、電圧プローブなど) の正常性を監視し、各コンポーネントに関する情報を表示します。

表 1. 主な機能 (続き)

特長	機能
	Dell EMC デバイスのコンポーネントレベルの正常性の詳細については、『Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 ユーザーズガイド』の「 Dell EMC デバイスのコンポーネント正常性の監視 」を参照してください。
SNMP アラートの監視	<p>Dell EMC デバイスに対する SNMP アラートを監視します。最後に受信した SNMP アラートのみが表示されます。</p> <p>受信したすべての SNMP アラートを表示するには、Nagios XI コンソールで [レポート] > [アラート] > [履歴] の順に移動します。</p> <p>それぞれのアラートを迅速にトラブルシューティングするために、SNMP アラートに対応した、サポートされている Dell EMC デバイスのアラート Knowledge Base (KB) 情報を表示することもできます。</p> <p>詳細については、『Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 ユーザーズガイド』の「生成されたアラートのナレッジベース (KB) メッセージ」を参照してください。</p>
Dell EMC デバイス専用コンソールの起動	サポートされている Dell EMC デバイスのトラブルシューティングと管理をさらに行うため、それぞれの Dell EMC 1対1コンソールを起動します。
保証に関する情報	サポートされている Dell EMC デバイスの保証情報を監視および表示します。詳細については、『Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 ユーザーズガイド』の「 Dell EMC デバイスの保証情報 」を参照してください。

このプラグインは、Nagios XI バージョン 5.4.11 および 5.4.13 をサポートします。

Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 をインストールする前に、サイトの「Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in」ページから最新のマニュアルをダウンロードして、この製品に関する最新情報を確認してください。

システム要件

プラグインのインストールを開始する前に、次の要件を満たしていることを確認してください。

共通の前提条件：

- ・ Nagios XI バージョン 5.6.6 から 5.6.13 がインストールされており、すべてのコンポーネントが機能している。
- ・ OpenManage Python Software Development Kit (OMSDK) がインストールされている。
- ・ Python バージョン 2.7.5 以降または 3.6.3 以降がインストールされている。
- ・ Python Argparse モジュールがインストールされている。
- ・ Python Netaddr モジュールがインストールされている。
- ・ (オプション) Dell EMC 保証情報を表示するために、Java バージョン 1.8 以降がインストールされている。
- ・ (オプション) SNMP アラートを受信するには、SNMP Trap Translator (SNMPTT) バージョン 1.3 以降がインストールされていること。最新バージョンを使用することが推奨されます。

メモ: ME4 ストレージおよび MX7000 シャーシは、RedFish プロトコルを使用して検出できます。iDRAC デバイスは、SNMP プロトコル、WSMan プロトコル、または Redfish プロトコルを使用して検出できます。Dell EMC ストレージ (ME4 を除く) および Dell EMC ネットワーク スイッチは、SNMP プロトコルを使用して検出できます。Dell EMC シャーシ (MX7000 を除く) は、WSMan プロトコルを使用して検出できます。ME4 ストレージと MX7000 シャーシは、REST API を使用して検出できます。

メモ: OMSDK のインストール、アンインストール、アップグレードに関する詳細については、「[OMSDK のインストール](#)」を参照してください。

トピック：

- ・ [管理システムのシステム要件](#)
- ・ [管理対象システムのシステム要件](#)

管理システムのシステム要件

管理システムとは、Nagios XI がインストールされているサーバのことです。管理システムの要件は、次のとおりです。

- ・ Red Hat Enterprise Linux 7.7
- ・ Ubuntu 18.04.3
- ・ Ubuntu 16.04.3
- ・ Nagios XI 5.6.6 ~ 5.6.13

対応バージョンの Red Hat Enterprise Linux および Ubuntu ゲスト オペレーティング システムをホストするハイパーバイザーもサポートされます。

管理対象システムのシステム要件

管理対象システムとは、監視対象のサポートされた Dell EMC デバイスのことです。管理下システムの必要条件は、次のとおりです。

表 2. Dell EMC PowerEdge サーバーでサポートされるファームウェア バージョン

Dell EMC PowerEdge サーバ	ファームウェアバージョン
iDRAC9 ベースの PowerEdge サーバー	4.0.0.0 以降のバージョン
第 12 および第 13 世代の PowerEdge サーバー	2.63.60.61 以降のバージョン

メモ: HCI、DSS デバイスは、第 13 世代および iDRAC9 もサポートしています。

表 3. PowerEdge シャーシでサポートされるファームウェア バージョン

Dell EMC PowerEdge シャーシ	CMC のバージョン
PowerEdge M1000e シャーシ	6.1 以降のバージョン
PowerEdge MX7000 モジュラー シャーシ	1.1 以降のバージョン
PowerEdge VRTX シャーシ	3.2 以降のバージョン
PowerEdge FX2/FX2s シャーシ	2.2 以降のバージョン

表 4. ストレージでサポートされるファームウェア バージョン

Dell EMC ストレージアレイ	対応ファームウェア バージョン
Dell Compellent SC-Series ストレージ アレイ	7.2.1 以降のバージョン
EqualLogic PS-Series ストレージアレイ	9.1.4 以降のバージョン
PowerVault MD 34/38 シリーズストレージアレイ	08.25.11.60 以降のバージョン
PowerVault ME4 ストレージ アレイ	GT280R004-01 以降のバージョン

表 5. ネットワーク スイッチでサポートされるファームウェア バージョン

Dell EMC オペレーティング システム ベースのネットワーク スイッチ	対応ファームウェアバージョン
オペレーティング システム 6	6.6.0.13 以降のバージョン
オペレーティング システム 9	19.4.1.8 以降のバージョン
オペレーティング システム 10	10.5.1.0 以降のバージョン

- ・ SNMP プロトコルを使用する場合は、それぞれのデバイスに SNMP が設定されていることを確認してください。
Nagios XI コンソールで SNMP トラップを受信する場合は、それぞれのデバイスに SNMP トラップ送信先を設定してください。
詳細については、dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement にある『Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 ユーザーズ ガイド』の「付録」の項を参照してください。
- ・ WSMAN プロトコルを使用する場合は、デフォルトのサービスアカウントではなく、WSMAN サービスアカウントの使用が推奨されます。詳細については、Dell.com/esmmanuals にある各デバイスのユーザーズ ガイドの「ユーザー アカウントと権限の設定」を参照してください。

対応プラットフォームのリストについては、『Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 ユーザーズ ガイド』の「サポート マトリックス」の項を参照してください。

ダウンロードとインストール

- Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 をインストールするには、コンポーネント固有のファイルをシステムに解凍します。
インストーラーは、**Dell EMC OpenManage Plugin_v3.1_Nagios_XI_A00.tar.gz** という名前の .tar.gz ファイルとしてパッケージ化されています。
ファイルの導入を開始する前に、次の手順に従って **Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1** をダウンロードします。
 - ・ ブラウザーを開いて、URL の欄に www.dell.com/support と入力します。
 - ・ **Dell EMC 製品** ページにアクセスするか、**Dell EMC サービス タグ** を使用して検索します。
 - ・ **[ドライバーおよびダウンロード]** を選択します。
 - ・ 選択した Dell EMC デバイスでサポートされているソフトウェアとプラグインのリストが表示されます。
 - ・ **Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1** をクリックして、ファイルをダウンロードします。
- ダウンロードしたファイルを保存した場所に移動し、ファイルの中身を解凍します。
次のファイルが抽出されます。
 - ・ Dell EMC OM NagiosXI monitoring wizard.zip ファイル
 - ・ Dell EMC OM Plugin_3_1_For_NagiosXI_IG.pdf ファイル
 - ・ Dell EMC OM Plugin_3_1_For_NagiosXI_ReadMe.txt ファイル
 - ・ license_en.txt ファイル
 - ・ Upgrade フォルダー
- 認証情報を入力して Nagios XI コンソールにログインします。
Nagios XI のホームページが表示されます。
- [管理]** タブをクリックします。
- 左側のペインで、**[システム拡張]** の下の **[設定ウィザード管理]** をクリックします。
[設定ウィザードを管理] ページが表示されます。
- [ウィザードをアップロード]** メニューの **[参照]** をクリックします。
[ファイルのアップロード] ウィンドウが表示されます。
- Dell EMC OpenManage Plugin_v3.1_Nagios_XI_A00.tar.gz** ファイルの内容を解凍した場所に移動し、**Dell EMC OM NagiosXI monitoring wizard.zip** ファイルを選択して **[開く]** をクリックします。
- [アップロード&インストール]** ボタンをクリックします。
Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in がシステムにインストールされ、著作権とバージョン情報とともに **[ウィザード情報]** メニューに表示されます。

トピック：

- ・ [インストール後の作業](#)

インストール後の作業

Nagios ホスト設定ファイルには、パスワードを必要とする Check スクリプト定義が含まれています。Dell EMC Nagios 3.1 Plug-in は、パスワードを暗号化できるようにします。暗号化のパスフレーズは、ファイルに対する必要なアクセス権がある安全な場所に保存されます。ファイルとパスフレーズを作成するには、次の手順を実行します。

- 暗号化と復号化のためにパスフレーズを格納するパスフレーズ リソース ファイルを作成します。
- <NAGIOS_HOME>/etc/resource.cfg に移動して、resource.cfg でマクロ \$OMNAGIOSRESPATH\$=<absolute path> を定義し、手順 1 で作成したファイルの絶対パスを指定します。
- 次のコマンドを実行して Nagios Core サービスを再起動します。

```
service nagios restart
```

パスフレーズ リソース ファイルとパスフレーズを作成するためのガイドライン

- ・ パスフレーズ リソース ファイルには、Nagios ユーザーおよび検出スクリプトを実行するユーザーに読み取り権限が設定されている必要があります。
- ・ パスフレーズには、英数字と特殊文字を含める必要があります。
- ・ パスフレーズの長さは、10 文字以上、25 文字以下にする必要があります。
- ・ パスフレーズは定期的に変更することをお勧めします。
- ・ パスフレーズ リソース ファイルには、Nagios ユーザーに読み取り権限が設定されている必要があります。

インストール後の要件

本項では、監視要件に基づいて実施する必要があるオプションの手順を説明します。

Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 のインストールが完了したら、次の手順を実行します。

- ・ トラップを監視するためのアラートまたはイベントの設定。
- ・ 受信したアラートまたはイベント (トラップ) についての詳細な情報を表示できるように Knowledge Base (KB) の記事を設定します。

デフォルト以外の場所に Nagios XI をインストールした場合は、「[デフォルト以外のパスにインストールした Nagios XI の設定](#)」の項に記載された手順を実行します。

トピック：

- ・ [アラートまたはイベントトラップの設定](#)
- ・ [サポート技術情報記事の設定](#)
- ・ [デフォルト以外のパスにインストールした Nagios XI の設定](#)

アラートまたはイベントトラップの設定

SNMP トラップの監視は オプションの前提条件です。SNMP アラートを受信するように SNMPTT を設定するには、次の手順を実行します。

1. `cd <NagiosXI installed path>/html/includes/configwizards/Dell EMC_OM_NagiosXI_monitoring_wizard/plugins` に移動し、次のコマンドを実行します。
`./postinstall.sh trap`

Nagios XI のデフォルトの場所は、`/usr/local/nagiosxi` です。

2. `snmptt.ini` ファイルがインストールされている場所のパスを入力して **ENTER** キーを押します。
または **Enter** キーを押してデフォルトのファイルのパス `/etc/snmp/snmptt.ini` で続行することもできます。
3. トラップ設定ファイルがインストールされている場所のパスを入力して **ENTER** キーを押します。または、**Enter** を押して、デフォルトのファイルパスである `'/usr/local/nagios/libexec'` を使用して続行することもできます。
4. 次のコマンドを実行して SNMPTT のサービスを再起動します。
`service snmptt restart`

これで SNMP アラートまたはイベント (トラップ) を受信できるようになりました。

サポート技術情報記事の設定

Knowledge Base の記事は、検出された Dell EMC デバイスが生成するアラートまたはイベントに関連するものです。Nagios XI コンソールで Knowledge Base の記事を表示するには、設定が必要です。

1. `cd <Nagios XI installed path>/html/includes/configwizards/Dell EMC_OM_NagiosXI_monitoring_wizard/plugins` に移動し、次のコマンドを実行します。
`./postinstall.sh dellkb`

Nagios XI のデフォルトの場所は、`/usr/local/nagiosxi` です。

KB 記事が設定されました。これで、KB 記事を表示できるようになりました。

デフォルト以外のパスにインストールした Nagios XI の設定

デフォルトでは、Nagios は次のパスにインストールされます。

```
"/usr/local/nagios
```

デフォルト以外のパスに Nagios XI をインストールした場合、次の手順を実行してこのパスを統合する必要があります。

1. `cd <Nagios XI installed path>/html/includes/configwizards/Dell EMC OM NagiosXI monitoring wizard/plugins` に移動して、次のコマンドを実行します。
`./postinstall.sh nagiosinstallpath`
2. `submit_check_result.sh` スクリプトファイルがインストールされている場所のパスを入力して **ENTER** キーを押します。
3. 次のコマンドを実行して SNMPTT のサービスを再起動します。
`service snmptt restart`

これで Nagios XI をインストールしたパスの設定が完了しました。

Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 へのアップグレード


Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in を最新バージョンにアップグレードするには、次の手順を実行します。

メモ: OpenManage Plug-in を v2.0 から v3.1 にアップグレードするには、まず v3.0 にアップグレードしてから、次に v3.1 にアップグレードする必要があります

1. Dell EMC サポート Web サイト (Dell.com/support) または Nagios Exchange (exchange.nagios.org/) から、最新の Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 インストーラーをダウンロードします。
インストーラーは、**Dell EMC OpenManage Plugin_v3.1_Nagios_XI_A00.tar.gz** という名前の .tar.gz ファイルとしてパッケージ化されています。
2. **Dell EMC OpenManage Plugin_v3.1_Nagios_XI_A00.tar.gz** ファイルを Nagios XI のセットアップがある場所にコピーします。
3. フォルダーをダウンロードした場所に移動して、ファイルの中身を解凍します。
次のフォルダとファイルが解凍されます。
 - Dell_OpenManage_Plugin フォルダー
 - Dell EMC OM Plugin_3_1_For_NagiosXI_IG.pdf ファイル
 - Dell EMC OM Plugin_3_1_For_NagiosXI_ReadMe.txt ファイル
 - license_en.txt ファイル
 - Dell EMC OM NagiosXI_monitoring_wizard.zip ファイル
 - Upgrade フォルダー
4. 次の手順に従って、Dell EMC OpenManage Plug-in の以前のバージョンを削除します。
 - 認証情報を入力して Nagios XI コンソールにログインします。
Nagios XI のホームページが表示されます。
 - [管理] タブをクリックします。
 - 左側のペインで、[システム拡張] の下の [設定ウィザード管理] をクリックします。
[設定ウィザードを管理] ページが表示されます。
 - [ウィザード情報] の Dell Plug-in の項目で、[アクション] にある  (削除) ボタンをクリックして、Nagios XI 向け Dell OpenManage Plug-in ウィザードをアンインストールします。
これでお使いのシステムからの Dell OpenManage Plug-in のアンインストールが完了しました。
5. 次の手順に従って、Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 をインストールします。
 - 認証情報を入力して Nagios XI コンソールにログインします。
Nagios XI のホームページが表示されます。
 - [管理] タブをクリックします。
 - 左側のペインで、[システム拡張] の下の [設定ウィザード管理] をクリックします。
 - [ウィザードをアップロード] メニューの [参照] をクリックします。
[ファイルのアップロード] ウィンドウが表示されます。
 - **Dell EMC OpenManage Plugin_v3.1_Nagios_XI_A00.tar.gz** ファイルの内容を解凍した場所に移動し、**Dell EMC OM NagiosXI_monitoring_wizard.zip** ファイルを選択して [開く] をクリックします。
 - [アップロード & インストール] ボタンをクリックします。
 - Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 がシステムにインストールされ、[ウィザード情報] に表示されます。

インストール後の手順を実行して、すべてのデバイスを再検出します。

Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in バージョン 3.1 のアンインストール

1. 認証情報を入力して Nagios XI コンソールにログインします。
Nagios XI のホームページが表示されます。
2. [管理] タブをクリックします。
3. 左側のペインで、[システム拡張] の下の [設定ウィザード管理] をクリックします。
[設定ウィザードを管理] ページが表示されます。
4. [ウィザード情報] の Dell EMC Plug-in の項目で、[アクション] にある  (削除) ボタンをクリックして、Nagios XI 向け Dell EMC OpenManage Plug-in ウィザードをアンインストールします。
システムからの Dell EMC OpenManage Plug-in のアンインストールが完了します。
5. パスフレーズ リソース ファイルの削除
6. <NAGIOS_HOME>/etc/resource.cfg からパスフレーズ リソース ファイルへの参照を削除します。

Dell EMC サポート サイトからのドキュメントへのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- ・ 次のリンクを使用します。
 - Dell EMC エンタープライズ システム管理、Dell EMC リモート エンタープライズ システム管理、および Dell EMC 仮想化ソリューションのマニュアル — www.dell.com/esmmanuals
 - Dell EMC OpenManage マニュアル — www.dell.com/openmanagemanuals
 - iDRAC マニュアル — www.dell.com/idracmanuals
 - Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズ システム管理 マニュアル — www.dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
 - Dell EMC 保守ツール マニュアル — <https://www.dell.com/serviceabilitytools>
- ・ Dell EMC サポート サイトからアクセスします。
 1. <https://www.dell.com/support> にアクセスします。
 2. [すべての製品の参照] をクリックします。
 3. [すべての製品] ページで [ソフトウェア] をクリックして、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - 統計
 - クライアントシステム管理
 - エンタープライズアプリケーション
 - エンタープライズシステム管理
 - メインフレーム
 - オペレーティングシステム
 - 公共機関向けソリューション
 - 保守ツール
 - サポート
 - ユーティリティ
 - 仮想化ソリューション
 4. マニュアルを表示するには、該当する製品をクリックして、該当するバージョンをクリックします。
- ・ 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

関連マニュアル

このガイド以外にも、Dell EMC サポートサイト (Dell.com/support/manuals) で次のガイドにアクセスできます。マニュアル ページで **ソフトウェアおよびセキュリティ** をクリックし、適切な製品リンクをクリックして、マニュアルにアクセスします。

- ・ *Integrated Dell Remote Access Controller 9 (iDRAC9)* バージョン 3.00.00.00 ユーザーズガイド
- ・ *Dell EMC XC シリーズハイパーコンバージドアプライアンスの各種マニュアル*
- ・ *Dell EMC VxRail アプライアンス シリーズの各種マニュアル*
- ・ *Lifecycle Controller 搭載 Integrated Dell Remote Access Controller 8 ユーザーズガイド*
- ・ *Integrated Remote Access Controller 7 ユーザーズガイド*
- ・ *Dell EMC PowerEdge M1000e 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド*
- ・ *Dell PowerEdge VRTX 用 Dell EMC Chassis Management Controller ユーザーズガイド*
- ・ *Dell PowerEdge FX2/FX2s 用 Dell EMC Chassis Management Controller ユーザーズガイド*
- ・ *Compellent SC-Series ストレージアレイ ユーザーズガイド*
- ・ *EqualLogic PS-Series ストレージアレイ ユーザーズガイド*
- ・ *PowerVault MD-Series ストレージアレイ ユーザーズガイド*
- ・ *Dell EMC ネットワーク スイッチ ユーザーズガイド*

www.nagios.org/documentation で、Nagios XI 関連のマニュアルも参照してください。

OMSDK のインストール

OMSDK は、`pypi.org` の標準 python パッケージとして利用できます。

pip を使用した OMSDK パッケージのインストールおよびアンインストール

pip を使用して OMSDK パッケージをインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
pip install omsdk
```

```
pip install omdrivers
```

pip を使用して OMSDK パッケージをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
pip uninstall omsdk
```

```
pip uninstall omdrivers
```

pip を使用しない OMSDK パッケージのインストールおよびアンインストール

ⓘ **メモ:** `Setup.py` は、`omsdk` 依存の python ライブラリーをインストールしません。次のライブラリーと一緒に必ず手動でインストールしてください。

- `pysnmp>=4.4.1`
- `pyasn1>=0.4.4`
- `enum34>=1.1.6`
- `requests>=2.12.3`
- `PyYAML>=3.12`
- `future>=0.16.0`
- `pysnmp-mibs>=0`

pip を使用せずに OMSDK パッケージをインストールするには、

1. <https://github.com/dell/omsdk> からソース パッケージを手動でダウンロードします。
2. [Clone or Download] をクリックします。
3. [Download zip] をクリックして、次のコマンドを実行します。

```
cd <downloaded path>
```

```
unzip omsdk-devel.zip
```

```
cd omsdk-devel/
```

```
python setup.py install
```

pip を使用せずに OMSDK パッケージをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

① **メモ:** `Setup.py` を使用した `omSDK` のインストール中に生成された `setup_file.txt` を変更しないでください。

```
cd omsdk-devel/
```

```
python uninstall.py
```

① **メモ:** コマンドとして `python` が動作するように環境を設定します。

pip を使用した OMSDK パッケージのアップグレード

① **メモ:** `pip` を使用せずに `OMSDK` をアップグレードするには、現在のバージョンをアンインストールし、サポートされているバージョンの `OMSDK` をインストールします。

`pip` を使用して `OMSDK` をアップグレードするには、次のコマンドを実行します。

```
pip install omsdk --upgrade
```

```
pip install omdrivers --upgrade
```